

どんな学校かを全職員で検討し合い本校では次のようにとらえ、共通理解を図った。

児童一人一人が学級やその他の集団の中で、自己の存在感を十分に実感できる学校。すなわち、児童一人一人の活動が所属集団に貢献していると感じたり、その活動が集団の成員から承認されていると感じたりすることのできる学校。

(2) 係活動を中心として

前年度までは集会活動を中心に研究を進めてきたが、以前よりは児童の活発な活動がみられるようになった。そこで、児童一人一人の自発性・自主性をさらに伸ばし、個性を生かせるよう児童自身の行動選択の幅を広げ、自己決定の場を与えることが必要と考え、児童の創意工夫が生かせる係活動を取り上げることとした。

(3) 当番活動と係活動

学級生活を維持し、発展させるための仕事を分担処理する係活動と、より良い学級とするために必要な当番活動とを資料1のように明確に区別するとともに、児童の自発的・自治的な活動を促す指導・援助に工夫を加えることができるようにした。

(4) 低・中・高学年ブロックテーマ

学年の発達段階に応じた、適切な指導・援助ができるようブロックテーマを設定した。

○低学年テーマ

資料1 係活動の段階

係活動の段階 (活動の意欲の所在)		視点	活動形態・活動内容	志向	性格
1年	○教師のお手伝い的な活動 ・単純 ・誰でもできるもの (教師との結び付き) (仕事を与えられた喜び)	仕事を見付け経験を重ねる	①一人一役 ・活動する力が未熟な者はアシスタントとして活動 ・仕事の細分化・分担 ・自分の役割を持つ  ②ペア活動 ・二人組で交替・協力して活動を進める	自分・個人志向	教師依存
2年	○当番的係活動 ・学級生活に必要で、分担処理すべきもの ・学級生活を快適にする (初めての経験) (興味・関心)				
3年	○当番的係活動 (必要感) → ○発展的な係活動 ・活動の領域を拡張、高めたもの ・活動内容や名前などに工夫を凝らしたもの (児童の創意工夫) (活動の質の高まり)	活動内容を工夫する	③小集団…各々の独立的活動 ・3～5人の小集団を単位とする活動 ・小集団の中で話し合い、分担協力を進める ・活動のめあてや内容などを計画する ・活動の反省を行い、活動を深め、工夫を凝らす ・集団毎に活動を発表し合いながら、他の係にも目を向ける	小集団内志向・外志向	
4年	→ ○文化創造的な係活動 ・おもしろく、みんなの役に立つもの ・学級生活を豊かにする (児童の創意工夫) (活動の質の高まり) (友達からの期待感) (成就感)				
当番的係活動と文化創造的係活動の分離・創造性のある活動の発					
5年	文化創造的係活動の内容の充実・学級全体の豊かな活動へ発展  ○学級生活を豊かにする係活動 ○集団どうし相互に協力し合う係活動 ○相互に認め合える係活動 ○意欲を持った自主的・自発的な係活動 ○創意工夫のある係活動 ○一人ひとり自己実現ができる係活動	活動によって学級を豊かにしていく	④小集団どうしの協力体制確立 ・小集団の機能を高める ・幾つかの係が協力し合いながら活動する  ⑤目標に向かって、全ての係が相互に関連し合う体制の確立 ・豊かな学級を目指し、自発的に活動を進める	係相互・学級・全体志向	自主性・自発性
6年	・創造性の発展 ・意欲の継続				

